



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成27年8月3日
東

上場会社名 株式会社ダイショー 上場取引所
 コード番号 2816 URL <http://www.daisho.co.jp>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 松本 洋助
 問合せ先責任者（役職名） 取締役管理本部総務人（氏名） 堀脇 裕之 (TEL) 092-611-9340
 事部長兼広報室長
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の業績（平成27年4月1日～平成27年6月30日）

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	4,109	1.6	△62	—	△65	—	△50	—
27年3月期第1四半期	4,044	2.4	△37	—	△38	—	△28	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
28年3月期第1四半期	△5.19		—					
27年3月期第1四半期	△2.91		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	13,771	7,292	53.0
27年3月期	13,979	7,414	53.0

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 7,292百万円 27年3月期 7,414百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	8.00	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,000	4.3	△100	—	△100	—	△90	—	△9.32
通期	19,700	5.6	500	15.7	500	15.3	280	2.6	29.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

28年3月期1Q	9,868,800株	27年3月期	9,868,800株
28年3月期1Q	215,999株	27年3月期	215,999株
28年3月期1Q	9,652,801株	27年3月期1Q	9,652,841株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料2ページ「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和政策を背景に、株価の上昇や円安傾向が継続し、景気の緩やかな回復が見られるものの、昨年4月の消費税率引き上げに伴う反動減からの回復は力強さに欠け、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

食品業界におきましては、消費者の生活防衛意識は変わらず、節約・低価格志向が恒常化するなかでの販売競争が熾烈化する一方、円安等にとまなう原材料費の高止まりや物流コストの上昇等、厳しい経営環境が続きました。

このような状況のもと、当社は、長期的な成長基盤の構築を目指し、成長分野の強化と経営の効率化に取り組んでまいりました。当社の強みである開発力を生かし、世の中の「簡単・簡便」ニーズを捉えた特徴ある新製品拡充に努めるとともに、開発・製造・販売が連携し、業務用製品・即食向け製品への注力、既存主力製品の見直し等による売上の拡大に努めてまいりました。

製品群別の概況は、以下のとおりであります。

液体調味料群においては、小売用製品では、春夏市場に向け、「簡単に味がワンランクアップする専用調味料」として新製品を投入し、『馳走屋 カルビ焼のたれ』等が売上を牽引いたしました。好調を継続している業務用製品では、販売・サポート体制の充実と販売強化策が奏功し、大きく売上を伸ばしました。この結果、売上高は25億1500万円（前年同期比102.4%）となりました。

粉体調味料群においては、小売用製品では「味・塩こしょう」類が好調に推移し、業務用製品も精肉向けを中心に順調に売上を伸ばしました。この結果、売上高は10億5100万円（前年同期比104.3%）となりました。

その他調味料群においては、即食向け製品の「スープはるさめ」類が、ラインアップの充実で売上を伸ばしましたが、売上高5億4300万円（前年同期比93.4%）となりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間における売上高は、41億9000万円（前年同期比101.6%）となりました。利益につきましては、増収を達成するなかで製造コスト及び販売コストを抑制し、効率化を進めてまいりましたが、円安及び国際相場の上昇による原材料費高騰の影響は大きく、営業損失は6200万円（前年同期は3700万円の営業損失）、経常損失は6500万円（前年同期は3800万円の経常損失）、四半期純損失は5000万円（前年同期は2800万円の四半期純損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ2億8000万円減少し、137億7100万円となりました。固定資産が総資産の63.1%を占め、流動資産は総資産の36.9%を占めております。主な資産の変動は、「受取手形及び売掛金」が9600万円、「原材料」、「リース資産」がそれぞれ4900万円減少したことによります。

負債は、前事業年度末に比べ8700万円減少し、64億7800万円となりました。流動負債が負債合計の63.4%を占め、固定負債は負債合計の36.6%を占めております。主な負債の変動は、「短期借入金」が3億円増加し、「賞与引当金」が1億6300万円、「未払消費税等」が1億1600万円、「リース債務」が5700万円減少したことによります。

純資産は、前事業年度末に比べ1億2100万円減少し、72億9200万円となりました。主な純資産の変動は、剰余金の配当7700万円の支出と四半期純損失5000万円の計上により「利益剰余金」が1億2700万円減少したことによります。自己資本比率は前事業年度末と同率の53.0%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期決算短信（平成27年5月8日公表）において発表いたしました業績予想からの変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 原価差異の繰延処理

操業度等の季節的な変動に起因して発生した原価差異につきましては、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産または流動負債として繰延べる方法を採用しております。

② 税金費用の計算

当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,542	1,525
受取手形及び売掛金	2,361	2,265
商品及び製品	536	620
原材料	358	308
その他	372	376
貸倒引当金	△24	△22
流動資産合計	5,147	5,075
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,772	2,725
土地	2,529	2,529
リース資産(純額)	1,333	1,283
その他(純額)	1,220	1,178
有形固定資産合計	7,855	7,717
無形固定資産	90	84
投資その他の資産		
投資その他の資産	890	897
貸倒引当金	△4	△3
投資その他の資産合計	885	894
固定資産合計	8,831	8,695
資産合計	13,979	13,771

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,343	1,330
短期借入金	800	1,100
未払金	889	927
未払法人税等	55	19
賞与引当金	332	169
役員賞与引当金	20	5
その他	646	556
流動負債合計	4,087	4,108
固定負債		
長期借入金	225	150
退職給付引当金	404	411
役員退職慰労引当金	595	606
その他	1,253	1,202
固定負債合計	2,478	2,369
負債合計	6,565	6,478
純資産の部		
株主資本		
資本金	870	870
資本剰余金	379	379
利益剰余金	6,242	6,115
自己株式	△114	△114
株主資本合計	7,378	7,251
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	35	41
評価・換算差額等合計	35	41
純資産合計	7,414	7,292
負債純資産合計	13,979	13,771

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	4,044	4,109
売上原価	2,424	2,456
売上総利益	1,620	1,653
販売費及び一般管理費	1,658	1,716
営業損失(△)	△37	△62
営業外収益	9	3
営業外費用	10	6
経常損失(△)	△38	△65
特別損失	0	0
税引前四半期純損失(△)	△38	△65
法人税、住民税及び事業税	△10	△15
四半期純損失(△)	△28	△50

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第1四半期累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

該当事項はありません。